

ISO環境マネジメントシステムの構築 にコンサルタントを活用したいが。

Q 社員35名の輸送機器の部品を製造する小さな鉄工所です。納入先から、環境ISOの認証取得を要請され、コンサルタントの活用をすすめられました。その詳細を知りたいのですが？

A コンサルタントの活用についてのご質問ですが、一般に中小企業の皆さんが、問題とされている人員・人材の不足気味に加えて、業務の多忙さから、担当を専従させてのシステム構築は大変なようです。その点コンサルタントを有効に活用して、比較的容易に、総合的にも低コストで、しかも早く認証取得した企業も多い様です。

具体的なコンサルタント活動の手順説明を前に、コンサルタントを活用するメリットとして言われている一般論は、次の項目が挙げられます。

- ① 初めてのISOの認証取得は、社内だけでは、知識も経験も不足で限界があり、長い時間と多くの人力をかけても認証取得の目途さえ立たないという例もある。これらの時間と労力を金額に換算すれば、コンサルタントの活用が、安く早く認証取得できる。
- ② 会社の従業員は、一般に、コンサルタントのような外部の専門家の意見は、すぐに受け入れて行動するが、社内からの意見は、なかなか受け入れない傾向がある。このため、コンサルタントの活用は、極めて有効である。
- ③ 認証取得のためのシステム構築に当たって、その準備作業の大半が、文書作成の作業である。このため内部の意見集約や、問題点の解決など、総括して判断したり、結論を出すに当たってまとまらない場合に、第三者のコンサルタントの存在は有効である。

今月の回答者

神奈川県技術士会環境マネジメントセンター
環境カウンセラー 木内昭男氏

④ ISOの認証取得にあたって、その経験豊かなコンサルタントの活用が要望される。特に技術面での優れた経験を有するコンサルタント（特に技術士集団）の活用が有効である。技術士のコンサルタントは、技術士法により客先の秘密保持が約束されており、他社に自社の秘密が漏れる事がない。

以上のように、認証取得に当たってのコンサルタントの活用は、自社の社員のみで取得を目指すよりも優秀なコンサルタントを有効に活用して、経費、時間、人力等を効率的に、安く、早く、目標を達成する最善の近道と考えられる。

次にコンサルタントの活用手順の概略を示しますが、詳細は、慎重に打ち合わせを行って、コンサルタントとの進め方を決めるべきと考えます。

- 第1段階 コンサルタント契約：契約条件、スケジュール、初期環境調査
- 第2段階 社員教育：内部監査員養成教育、推進員・一般社員教育
- 第3段階 社内体制の整備：環境方針、組織・職務権限、認証取得宣言
- 第4段階 文書作成：環境マニュアル、規定類
- 第5段階 実施・運用：環境マネジメントシステムの実施・運用とその記録
- 第6段階 内部監査と認証取得審査：内部監査の実施、審査機関の審査、認証取得
- 第7段階 認証取得後の見直し：経営者の見直し、継続的改善

以上の第1段階から、第7段階までのステップをコンサルタントがすべてカバーするわけではない。主役は、あくまで認証取得する企業の皆さんであり、コンサルタントは、その取得を支援する脇役でしかありません。認証取得のために、お互い協力して頑張りましょう。